

2016 年度秋学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	管理栄養士専攻	科 目
-----------	---------	-----

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

管理栄養士専攻について：

管理栄養士専攻科目のアンケート結果から、評定平均値を全学と比較すると、ほとんどの質問項目において全学平均値と同等であった。授業時間外の学習時間（時間換算期待値 h/w）が 1.40 で全学 0.65 に対して 2.15 倍と際立って長く、昨年度（1.36）より少し時間が長くなった。実験実習の課題が多いことが影響していると思われるが、アクティブラーニングを取り入れるなどの教員の工夫により、講義でも事前課題やノート提出や課題発表を課したことも要因であると思われる。今後とも授業時間外の学習に力を注ぐよう指導を続けることが必要である。また「授業レベル」のみが昨年度より低下傾向（3.44）にあった。評点 3 が適切と考ええると、これは授業レベルが学生に合うよう、教員が工夫した結果であろう。管理栄養士専攻の場合、全国的な教育の到達目標があるため、限られた時間数の中で、学生の理解と自主学習を促す工夫を継続的に行っていく必要があると考える。

DWCLA10 選択率に関しては、全学選択率と比較して分析力（37.0%，全学 32.8%）と自己管理能力（18.0%，全学 11.4%）が高いことが特徴的であった。特に自己管理能力は昨年度より向上していた。しかし、昨年度と同様に創造力 8.4%（全学 19.3%）、プレゼンテーション力 11.9%（全学 14.6%）、自己実現力 6.3%（全学 9.7%）で低い結果であり、今後も授業方法の工夫等で改善すべき課題であるといえる。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育開発支援センター